

3月給食たより



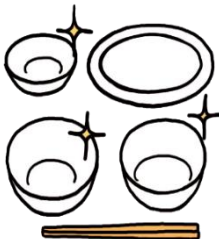

4月 **1年間の振り返りをしよう!** 3月

日ごとに寒さが和らぎ、春がすぐそこまで来ていますが、もう少し、寒い日が続きます。3月は1年間のまとめの月です。自分自身の食生活や、給食を通して学んだこと、できるようになったことを振り返り、新しい学年で挑戦したいことを考えてみましょう。



「ありがとう」の気持ち、表れていますか?

給食はみんなのことを大切に思う、多くの人の温かい気持ちや協力のうえに成り立っています。この1年を振り返り、みんなの「ありがとう」の気持ちが伝えられているか、食べ方からチェックしてみましょう。

 <p>「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを毎日しっかりできた。</p> <p>(○ △ ×)</p>	 <p>よくかんで、味わって食べることができた。</p> <p>(○ △ ×)</p>	 <p>すききらいをしないで、残さずに食べることができた。</p> <p>(○ △ ×)</p>	 <p>後片付けもきまりを守ってしっかりできた。</p> <p>(○ △ ×)</p>
<p>食べ物の命をいただき、多くの人の努力に感謝の気持ちをこめ、大きな声であいさつしましょう。</p>	<p>よくかんで味わい、おいしく食べてくれると、作った人は本当にうれしくなります。</p>	<p>みんなのことを考えて、一生懸命に作ったメニューです。本当はいつも全部食べてほしいな。</p>	<p>ありがとう。みんなの協力のおかげで給食室での後片付けもスムーズに気持ちよくできます。</p>

♥1年間、ありがとうございました♥

3/3 ひなまつり

「桃の節句」や「上巳の節句」ともいい、ひな人形や桃の花を飾り、女の子の健やかな成長と幸せを願います。行事食として、ちらしずし、ハマグリうしおじるの潮汁、ひなあられ、ひしもちなどが食べられています。



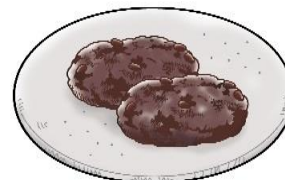
ひしもちが登場したのは江戸時代以降といわれ、それ以前には、やく厄をはらうヨモギの葉を入れた「草もち」が食べられていました。ひしもちの緑色の部分にもヨモギの葉が使われます。

★3月1日(金)の給食に、「ひなあられ」がつきます!!



春のお彼岸とぼたもち

春分の日(3月21日頃)と秋分の日(9月23日頃)を中日として前後3日の7日間を「彼岸」といいます。彼岸はお墓参りをして祖先に感謝する日です。「ぼたもち」や「おはぎ」をよくお供えますが、漢字で書くとそれぞれ「牡丹餅」「お萩」となることから、牡丹が咲く春の彼岸には「ぼたもち」、萩が咲く秋の彼岸には「おはぎ」と使い分けるとする説もあります。春分と秋分は太陽が真東から昇って真西へ沈む日であり、昼夜の長さがほぼ等しくなります。「暑さ寒さも彼岸まで」とよくいわれるように、この日を境に少しずつ過ごしやすいなってきます。



ぼたん ぼた
牡丹の花



はぎ ぼた
萩の花